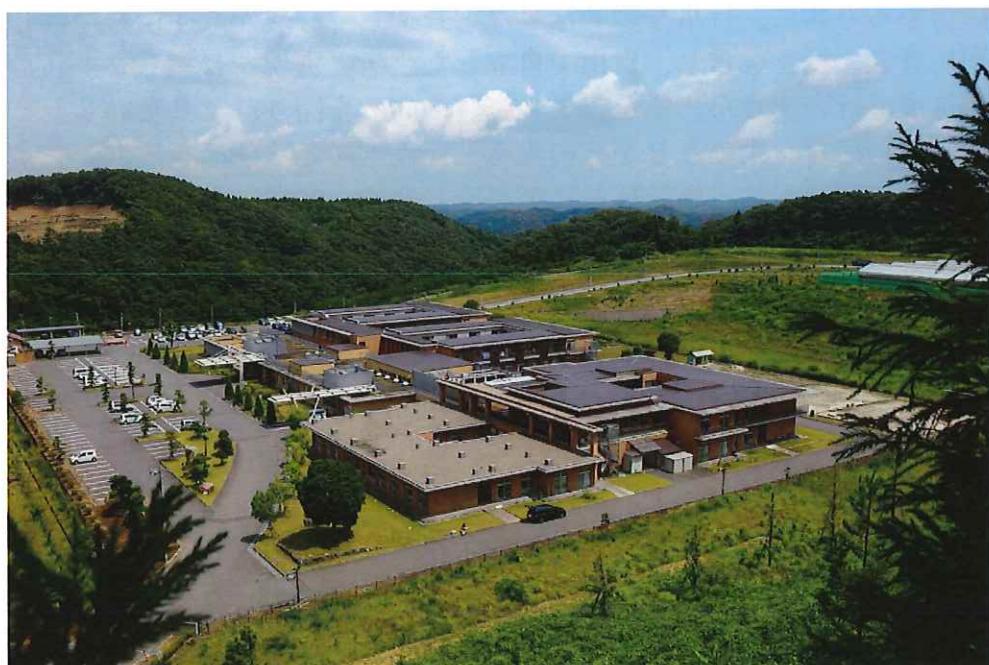


令和 4 年度

事業実績報告書



社会福祉法人 昭和村

昭和村の理念

安全、安心 そして心豊かな生活
自由、自立 そして役割のある生活
共助、共生 そして地域と共にある生活

基本方針

- ① 安全、安心の生活を実現するために、施設・設備等の維持管理や点検整備等に努めると共に、行事や趣味活動などを通して心豊かな生活を提供します。
- ② 利用者的人権を尊重し、自由で自立した生活の実現を目指します。
身体拘束は行いません。また職員の資質の向上を図り、よりよいサービスを目指し、利用者一人ひとりがその人らしい役割のある生活を提供します。
- ③ 地域から信頼される施設経営に努めると共に、地域との交流を図り、共に助け合い励まし合って、地域の一員として生活出来るように支援します。
- ④ 利用者の権利を遵守します。
利用者の日常生活やケアプラン、ケアの内容などについて、正確でわかりやすい説明をします。
- 利用者のプライバシー（個人情報）は、保護します。

社会福祉法人 昭和村

令和4年度 社会福祉法人昭和村 事業実績報告書

【目次】

I	社会福祉法人 昭和村 本部 事業実績報告書	P1
II	軽費老人ホーム 溪泉荘 事業実績報告書	P10
III	特別養護老人ホーム 市原園 事業実績報告書	P17
IV	市原園デイサービスセンター 事業実績報告書	P26
V	市原園在宅介護支援センター 事業実績報告書	P32
VI	市原園居宅介護支援事業所 事業実績報告書	P35
VII	昭和村壳電事業 事業実績報告書	P39

I 社会福祉法人 昭和村 本部 事業実績報告書

1 施設の運営について

社会福祉法人昭和村は、地域と共に生活するという理念に基づき、適正に施設を運営し、地域の福祉施設となるように努力致しました。

令和4年度も、令和3年度同様に新型コロナウイルスの感染予防の為に、職員は施設内の掃除、消毒、また職員間の密な交流も出来るだけ避けてきた一年でした。また、利用者の皆さんにもリモート面会や行事の自粛、また外出の制限など多大なご迷惑をおかけしてしまいました。

加茂地区社会福祉協議会の「ふれあい・いきいきサロン」は、新型コロナウイルス感染予防の為利用されませんでしたが、「よろず相談所」の看板を掲げ地域の皆さんから頼られる施設を目指しました。

通所介護、訪問介護、ケアプランの作成などは、地域から高い評価を得ております。

今後とも、新型コロナウイルスの感染予防に最大限の予防をしつつ、各施設、事業所の適正な運営管理と入居者、利用者の意思を尊重し、サービスの向上を図り、地域との交流などに努め地域福祉の拠点となるよう積極的に努めます。

(1) 軽費老人ホーム渓泉荘

入居者の要望や身体状況を把握し、生きがい対策など入居者の日常生活の支援を行いました。

特に、入居者の半数以上の方が要支援・要介護状態となっている現状から、本人、家族、介護支援専門員との話し合いのもと、効果的に介護保険サービスを利用しました。

新型コロナウイルス感染予防の為サークル活動や外出行事は、ほとんど休止致しました。又、誕生会も今まで通りの食事を兼ねるスタイルから式典のみを行う方式に変更致しました。健康管理や感染症予防の為に、入居者の手洗い指導、一日2回の体温測定、施設内の清掃作業など、全職員一丸となって取り組みました。



(2) 特別養護老人ホーム市原園

「全室個室・ユニットケア」の特徴を活かし、入居者のプライバシーに配慮したケアに努め、認知症の方への精神的安定や自立した生活が出来るように、入居者の介護に努めました。

特に各ユニットでは、入居者の日常生活の支援に重点を置いた施設サービス計画を作成し、可能な限り一人ひとりと向き合い、残存機能の維持向上を図りつつ、その人らしい生活をサポートしました。



(3) 市原園デイサービスセンター

通所介護は、利用者の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように支援しました。

又、独居や高齢利用者も多い事から、新型コロナウイルス感染予防に最大限の注意を払いながら、外出ドライブや出前食の企画、クッキング教室、園芸教室を実施いたしました。地域密着型運営推進会議は、新型コロナ感染予防の為、一回は書面において実施致しました。



(4) 市原園在宅介護支援センター

訪問介護は、7名の訪問介護員が居宅を訪問して、入浴、排泄、食事等の身体介護、家事、炊事等の日常生活上の介護を行いました。

活動場所は、加茂・南総地区をはじめ、大多喜町、君津市となっていいます。



(5) 市原園居宅介護支援事業所

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来る様に、総合的な相談に積極的に応じました。

経験豊富なケアマネ4名が、一人一人に合ったケアプランを丁寧に作成しました。ケアプラン作成件数は、月平均187件でした。



(6) 昭和村壳電事業

平成29年10月から渓泉荘の屋根に太陽光パネルを設置し、売電事業を行いました。積雪等ありましたが、建設時の予想発電量を上回る発電があり、東京電力パワーグリッドに売電することが出来ました。

2 事業実施状況

4/ 1 11 12 18 24 26	辞令交付(人事異動、定期昇給) 害虫駆除（環境コントロール） 施設長・管理者会議 防災設備点検(M・Kサービス) 職員女子トイレ天井・ヘルパー前廊下塗装工事（栄幸塗装） 水質検査（薬剤師会検査センター）
5/ 9 10 11	施設内草取り 施設長・管理者会議・エアコンガス保守点検(パナソニック産機システムズ) 渓泉荘・デイサービス浴室排煙窓修理（オイレス）

13	厨房床掃除(職員)
17	エレベーター点検 (三菱電機)
23	ゴミ拾い・花植え
6/ 6	監事監査
7. 8. 9	健康診断(職員・利用者)
10	第219回理事会
24	第154回評議員会
27	害虫駆除(環境コントロール)
7/ 4	不在者投票(参議院選挙)
7	防災訓練・防災設備点検 (M・Kサービス)
12	施設長・管理者会議 内部経理監査
25	ホンダNボックス納車 (ホンダカーズ)
30	新型コロナワクチン接種 第4回目第1班 (入居者107名・職員3名)
8/ 2	グリストラップ掃除 (ナンゾーテック)
13	新型コロナワクチン接種 第4回目第2班 (入居者29名・職員21名)
24	水質検査 (薬剤師会検査センター)
26	エレベーター点検 (三菱電機)
9/ 20	自動ドア点検 (寺岡)
28	水質検査(薬剤師会検査センター)
30	第220回理事会 (書面決議)
10/ 11	施設長・管理者会議
12	全停電検査(日本テクノ) 床掃除 (デイルーム・大ホール・厨房 職員実施)
26	水質検査 (薬剤師会検査センター)
29	インフルエンザ予防接種 (入居者126名・職員53名)
11/ 14	エレベーター点検 (三菱電機)
24	水質検査 (薬剤師会検査センター)
12/ 6	高圧電気点検(日本テクノ)
10	コロナワクチン5回目接種 (入居者132名・職員27名)
13	千葉県指導監査(市原園)
14	防災訓練・防災設備点検 (M・Kサービス)
19	害虫駆除 (環境コントロール)
22	グリストラップ掃除 (ナンゾーテック)
23	第221回理事会
1/10・11	デイサービス風呂脱衣場天井塗装工事 (栄幸塗装)
17	第3回評議員選任・解任委員会
25	水質検査 (薬剤師会検査センター)
2/ 6	電気設備点検 (日本テクノ)
9	害虫駆除(環境コントロール)
13	エレベーター点検 (三菱電機)
14	施設長・管理者会議
24	市原市指導監査 (法人・会計)

3/ 8	井戸掃除（神鋼環境メンテナンス）
22	防災訓練（避難訓練・緊急連絡網）
23	水質検査（薬剤師会検査センター）
28	自動ドア点検（寺岡）
30	第222回理事会 第4回評議員選任・解任委員会

3 理事会の開催状況

第219回 令和4年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業実績報告について ・令和3年度計算書類及び財産目録の承認について (令和3年度監事監査の結果について) ・評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について ・令和4年3月から5月の活動状況の報告
第220回 令和4年9月30日 (コロナウイルス感染予防の為 書面議決)	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正案について ・令和4年6月から8月の活動状況の報告
第221回 令和4年12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第一次補正予算案について ・新評議員候補者推薦の提案について ・市原園の運営規定一部変更案について ・デイサービスの運営規定一部変更案について ・在宅介護支援センターの運営規定一部変更案について ・居宅介護支援事業所の運営規定一部変更案について ・令和4年9月から11月の活動状況の報告
第222回 令和5年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第二次補正予算案について ・市原園デイサービスセンター新管理者の選任について ・経理規程の一部改正案について ・評議員の選任について ・令和5年度事業計画案について ・令和5年度予算案について ・理事監事の任期満了に伴う新理事監事の推薦について ・苦情解決第三者委員の任期満了に伴う新第三者委員の選任について ・令和4年12月から令和5年2月の活動状況の報告

4 評議員会の開催状況

第154回 令和4年6月24日	・令和3年度計算書類及び財産目録の承認について
-----------------	-------------------------

5 評議員選任・解任委員会の開催状況

第3回 令和5年1月17日	・岩渕評議員退任に伴う後任評議員の選任について
第4回 令和5年3月30日	・6名の評議員の選任について

6 借入金等の返済状況

(法人本部)

借入先	独立行政法人福祉医療機構
借入額	572,300,000円
借入年度	平成16年度
完済年度	令和6年度
償還済額(3年度末時点)	486,470,000円
令和4年度 儻還額元金 利子	28,610,000円 1,215,925円
令和4年度末 儻還残高	57,220,000円

7 行事について

地域との交流行事として、盆踊り、運動会、そして文化祭の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染予防の為実施することができませんでした。

8 専門委員会について

令和4年度は、4つの専門委員会に全職員が所属し、自分達の施設を自分達で良くして行こうと一年間独自の活動に取り組む予定でした。が、新型コロナウイルスの感染予防の為各施設間の職員交流を最低限度にしたため、活動はほとんどできませんでした。

(1) サービス向上・身体拘束廃止委員会

(事故防止・研修(ヒヤリハット事例分析含む)・虐待防止)

職員の資質向上は、利用者へのより良いサービスに繋がります。コロナウイルス感染予防の為外部研修への参加はほとんどありませんでしたが、zoom研修などをを利用して資質向上に努めました。また、日頃からヒヤリハット報告書を活用し事例を共有することで事故予防に努めました。

(2) 行事企画・広報・ボランティア委員会

春の演遊会、盆踊り、秋の縁友会、文化祭などは、新型コロナウイルスの感染予防の為すべて開催することができませんでした。

広報は、1回発行しご家族や地域の皆様に施設の状況をお知らせしました。その他にも新型コロナウイルス対応の現状をご家族の皆様にお伝えしご理解をいただきました。

(3) 感染症対策、健康管理・給食委員会

(喀痰吸引等の安全委員会含む)

6月に、全職員・入居者の健康診断を移動検診車で実施しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大予防の為に適宜委員会を開催いたしました。委員会では、利用者間の感染予防に様々な角度から協議し、職員又利用者に協力をいただきました。利用者の皆様には、面会規制また外出制限とご迷惑をおかけしました。渓泉荘・市原園共に新型コロナウイルスの感染者が出てしましましたが、施設内の感染を最低限で食い止めるように職員一丸となって対応に当たりました。また、手洗い・マスク装着の効果もあり、インフルエンザの発症者も一人もおりませんでした。

コロナウイルスワクチンは、嘱託医の市原健康クリニックの小椋医師が施設で実施して

下さいました。

(4) 環境・營繕・車両委員会

施設の電気、ガス、水道、空調、浄化槽、防災機器など、各種の機械や設備が良好な状態で使用出来るように、職員で出来る範囲のメンテナンスを行いました。

エレベーターや火災報知器、専用水道浄水装置、水道設備貯水槽の清掃、下水浄化槽の保守点検などの法定点検については、専門業者に依頼し点検整備を実施しました。

環境美化の為に施設進入路入口付近や施設敷地内の草取り作業、清掃活動、花の植え付けなど全職員の協力を得て実施しました。

また、安全運転に対する自覚を喚起する為に乗車前の身体状況点検、車両点検など実施しました。公用車の運転日誌の整備、定期点検を実施しました。

今年度も、(社)千葉県安全運転管理協会主催の「セーフティードライバーズちば 2022」に1チーム10名が参加し、無事故無違反を達成することができました、今後も安全運転の呼び掛け運動などを定期的に実施し交通安全の意識向上に努めます。

9 合同防災訓練

【防災避難訓練の実施状況】

訓 練 日 時	内 容	参 加 者
R4年7月7日 PM2:30～3:30	新型コロナウイルスの感染拡大予防の為、火災や災害発生を想定した全体での避難訓練は行わず、職員を対象とした放水訓練を行い、有事の際冷静に行動できるような訓練をした。宿直を行う職員に対し事務室警報盤等の勉強会を実施した。	入居者 0名 職 員 40名
R4年12月14日 PM2:30～3:30	夜間想定訓練として実施。A棟1階談話室から火災発生。初期消火に失敗したため非常招集訓練実施。自宅にいる職員にも召集がかかり随時駆けつけ、宿直者の指示に従う。 防災設備の点検会社により宿直を行う職員に対し、事務室警報盤、防災設備の説明また誤報時のリセット方法の勉強会を実施した。	入居者 0名 職 員 13名
R5年3月22日 PM2:30～3:30	溪泉荘B棟2階談話室より出火し、事務室警報盤が作動。火災現場を確認し初期消火を試みたが失敗。119番通報、全館放送により利用者も前庭まで避難した。 夜職員の緊急連絡網の訓練実施。	入居者 93名 職 員 21名

10 設備等の修繕・工事の内容（10万円以上の工事・各施設にて按分負担）

修繕・工事名	浄化槽調整槽修理
年月日	令和5年1月31日
業者名	株式会社ナンソーテック
内容	浄化槽の調整槽修理
金額(税込)	330,000円

11 器具及び備品・固定資産の購入内容（10万円以上の購入代金・各施設にて按分負担）

該当なし

令和 4 年度

事業実績報告書



(令和 4 年 9 月 16 日 : 敬老会にて)

軽費老人ホーム 溪泉荘

II 軽費老人ホーム 溪泉荘 事業実績報告書

1 施設の運営管理について

(1)はじめに

軽費老人ホーム渓泉荘は、令和4年度事業計画に基づき、施設の適正な運営管理に努めました。

・高齢社会に対応する施設として、サービスの向上に努め、入居者・職員の信頼関係の確立を図りました。

・入居者の自主性・積極性を尊重し、生きがいのある生活が送れるよう支援しました。

・防災意識の向上を図り、安全管理体制の強化に努めました。 (親睦会での様子)

・地域との交流を積極的に図り、施設が地域福祉の核となるよう努めました。

・新型コロナウイルスの感染予防に取り組みました。

新型コロナウイルスの感染予防対策は、下記のとおりです。

- ① 利用者及び職員の手洗い、うがい・マスク着用の徹底
- ② 利用者、職員の一日2回の体温チェック
- ③ 利用者の外出制限（通院、買い物便の制限）
- ④ 面会制限（状況を見て、禁止からPCそして、玄関での面会へ移行）
- ⑤ 食堂の間仕切りの設置
- ⑥ 食事の前に放送をし、居室から早く出て廊下で会話しない様喚起
- ⑦ 食堂に集まってのラジオ体操を中止し、各居室での体操の声掛け
- ⑧ 誕生会は、その月の誕生者のみ大ホールに集まり式典を実施
- ⑨ 毎日の手すり掃除
- ⑩ 食事後の間仕切りの掃除
- ⑪ 食堂の空間除菌脱臭装置の設置（3台）
- ⑫ 面接は、居室等への立ち入らず、写真にて説明
- ⑬ 新規入所者・退院者は翌々日の朝食迄自室待機



(2)職員配置の状況

軽費老人ホーム渓泉荘は、入居者の虚弱化・高齢化に対応する為、国の基準より多く職員を配置しました。又、調理業務は株式会社 西原屋に委託しました。

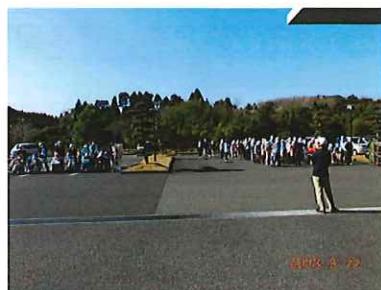
	施設長	談生活相員	介護職員	護職員	主任介員	看護職員	栄養士	事務員	医師	その他	調理員	合計
基準	1	1	4	1	1	1	1	2	必要な数		実情	11名
県単			1			1						2名
現員	1	2	5(1)	1	2	1	2	(1)		委託	14(2)名	

()は非常勤 (令和5年4月1日現在)

(3) 防災訓練の状況

昭和村消防計画に基づき、防災避難訓練を通じて、建物や消防用設備等の点検に努めました。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、利用者の避難誘導訓練は、令和5年3月22日（水）の1回のみ実施となりました。夜間を想定した訓練は、火災防御・救急・救助技術の向上を図り、防火管理体制を強化しました。



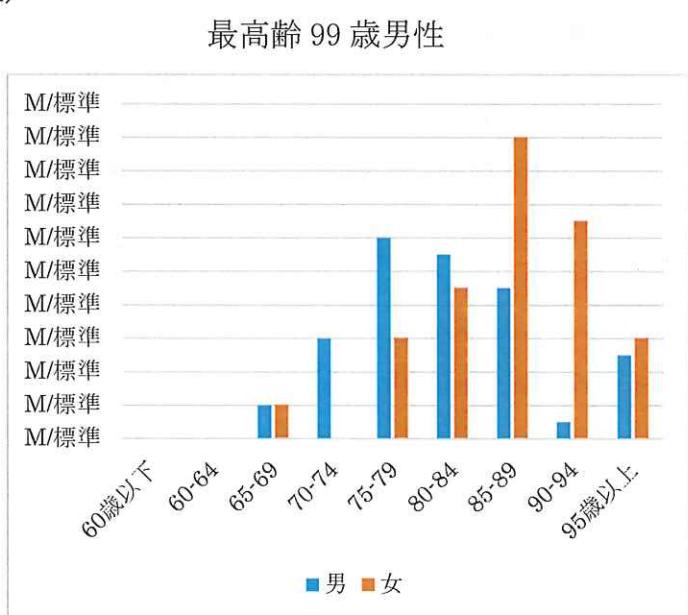
2 入居者処遇について

(1) 月別入退所者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
初日	100	100	100	100	99	98	
入居	2	0	1	3	0	3	
退居	2	0	1	4	1	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	100	99	100	98	98	100	1,192名
	0	3	0	2	3	1	18名
	1	2	2	2	1	1	18名

(2) 年齢別入居者数(令和5年3月31日現在)

年齢区分	男	女	合計
60歳以下	0	0	0
60～64	0	0	0
65～69	2	2	4
70～74	6	0	6
75～79	12	6	18
80～84	11	9	20
85～89	9	18	27
90～94	1	13	14
95歳以上	5	6	11
合 計	46	54	100名
平 均	81.7	86.4	84.3歳



(3) 日常生活の状況(令和5年3月31日現在)

歩行	自立歩行	61名	昼間	便所	自分で可能	97名
	歩行補助器	36名			車イス使用	3名
	車イス使用	3名			ポータブル	自分で可能
	歩行不能	0名			介助	0名

食事	自分で可能	37名	排泄	おむつ、パット使用		33名			
	一部介助、寮母配膳	63名		夜間	便所	自分で可能	97名		
	全部	0名			車イス使用	車イス使用	3名		
入浴	自分で可能	51名		ボータブル	自分で可能	0名	0名		
	一部介助、ヘルパー	49名			介助	介助	0名		
	全部	0名		おむつ、パット使用		33名			
着衣	自分で可能	67名	※おむつ、パット使用者でも自分で交換可能な方は、排泄自立にもカウントしている為合計が合いません。						
	一部介助・全部介助	33名							
	全部	0名							

(4) 処遇方針について

入居者の身体状況を把握し、ニーズに合わせた支援を実施しました。

又、高齢化、虚弱化により個別的なサービスが必要となった入居者には、本人又は保証人と協議の上、介護保険サービスを効果的に利用しました。

サービスの利用に当たっては、残存機能の維持や認知症の予防に主眼を置き、介護支援専門員と密な連絡を取り、サービス開始後も適宜見直し、より良い生活が送れるよう支援しました。

又、渓泉荘の生活が困難になった入居者については、本人、保証人、主治医等との協議の上、最善の場を提供出来るようにしました。

(5) 教養娯楽について

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、多くの行事を実施することができませんでした。毎朝食堂で行われていたラジオ体操は、マンネリ化を防ぐためご当地版バージョンを流し、各自居室で行っていただきました。

誕生会は、密を避けるため午前中に誕生者のみ大ホールで式典を実施し、昼食時は全員に旬の食材を使った四季折々のお祝膳を堪能していただきました。

4/15	誕生会	
5/20	誕生会	
6/17	誕生会	
7/4	不在者投票	
7/15	誕生会	
7/27	ゴキブリ駆除	
9/16	誕生会（8月・9月）敬老会	
10/21	誕生会	
10/29	インフルエンザ予防接種	
11/28	紅葉狩り（養老渓谷方面）	
12/10	コロナワクチン5回目予防接種	
12/21	誕生会・クリスマス会・イルミネーション見学	
12/28	市原プロレス来荘	
1/20	誕生会	

2/14	バレンタインデー	
2/17	誕生会	
3/14	ホワイトデー	
3/17	誕生会	
3/22	防災訓練	
3/28	お花見見学（高滝ダム～養老渓谷方面）	
3/29	お花見見学（高滝ダム～養老渓谷方面）	

(6) 食事について

食事の充実は健康維持に欠かせず、生活の充実でもあるとして、入居者に喜ばれる食事作りをしました。

調理形態についても、入居者の身体状況を考慮し、普通食、キザミ食、超キザミ食を用意すると共に、減塩食などの治療食にも対応しました。

バイキング食も自分で取れない入居者が年々増加し、今では半分以上の入居者が何らかの介助が必要になりました。

新型コロナウイルスの感染予防の為、空気清浄機の設置、入居者のテーブルには間仕切り・湯飲み茶わんの変更また食事前の放送などできる限りの感染症対策を行いました。又バイキング食は、個別盛りのお皿を自分で取る方式にしました。

外出や入院等で1日（3食）食さない入居者に、食材料費相当分として800円を返金しました。

	朝 食	昼 食	夕 食
食事時間	7:30～8:30	12:00～13:00	17:30～18:30

(7) 入浴について

入浴日は週4日とし、入居者が快適に生活出来るようにしました。

又、介護保険を利用したヘルパー介助の個浴、リフト浴の利用者も年々増加し、最近では入所時からヘルパー入浴を利用する方もおりました。

区 分	入浴回数	入浴時間	ヘルパーによる入浴介助者
一般浴槽	週 4 日	15:00～20:00	個浴 14名 リフト浴 4名

3 給食管理について

(1) 食事について

入居者の給食は、年齢、性別、生活活動強度により栄養所要量を決定し、栄養が確保できるようにしました。又、嗜好調査、残菜調査、食事後の聞き取り調査を通じ、入居者の声を聞き、献立や味付けに反映させました。又、顧客満足度アンケートを実施し、味付けや料理の品数などのようなものが食べたいか調査を致しました。満足・まあまあ満足の方は79人中73人であり、大半の方に満足していただいていることがうかがえました。入居者の身体状況に応じ、調理の形態を変えると共に、配膳の介助、代替食の用意などの便宜を図りました。今後も入居者に喜んで頂ける食事を提供できるようにします。



(2)栄養所要量について(令和5年3月31日現在)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 G	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,530	62.9	45.2	750	7.5	850	1.1	1.2	100

(3)令和4年度 栄養摂取量(1人1日当たり)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 G	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,601	68.5	44.9	840	10.6	826	0.85	0.97	88

(4)調理形態別の食事の状況(令和5年3月31日現在)

主食	ご飯 63名	お粥 37名	
副食	普通 80名	キザミ 15名	超キザミ 5名

4 健康管理について

(1)保健計画について

病気の早期発見、早期治療の為に、週2回職員が同行し、加茂診療所へ通院しました。嘱託医による診療は、週1回医務室において実施しました。協力病院のポプラクリニックへも通院介助すると共に、併設の鈴木神経科病院にも入院出来る体制を整えました。又、認知症の予防、進行防止、残存機能維持の為、デイケア、デイサービスも積極的に利用しました。

感染症予防の為、手洗い、うがい、マスクの着用には万全を期しました。退院時また入所時には翌々日の朝食迄居室対応をするなど、コロナウイルスが施設に入らない対策を取りました。コロナワクチンにつきましては、嘱託医が施設で接種しました。

【令和4年度コロナウイルス感染状況】

R4.8	入居者3名 職員3名	R4.11	入居者3名
R5.1	入居者2名	R5.2	入居者3名

【デイサービス等の利用状況(R5.3.31現在)】月間延べ回数

デイサービス	7ヶ所	242回
デイケア	2ヶ所	32回



(2)入居者の健康診断について

年2回の健康診断が義務付けられており、1回目は市原健康クリニックの移動検診車で、胸部レントゲン検査、心電図検査、血液検査、診察を実施しました。

又、2回目の健康診断は、嘱託医の問診を施設内で実施しました。



(3)職員の健康診断について

全職員の健康診断は、市原健康クリニックの移動検診車で実施しました。更に希望者は、社会保険指定病院の生活習慣病予防検診を受診できるように便宜を図りました。

5 給食サービスの状況

毎年、加茂地区社会福祉協議会の主催する「ふれあい・いきいきサロン」の会場として利用して頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染予防の為、一度も開催されませんでした。

6 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修名	内 容	参加人数
R5. 2月 14 日	BCP 作成研修	東京海上日動 西森氏による BCP 作成研修	2名

(2) 外部研修

新型コロナウイルスの感染予防の為、千葉県、千葉県社会福祉協議会また市原市の研修はほとんどありませんでした。

日付	研修名	内 容	参加人数
R4. 6月 16 日	施設長及び事務担当者研修会	高齢協： ZOOMによるオンライン研修 県：職員による講義・結城先生講義	1名
R4. 7月 28 日	介護技術研修 基礎編	県社協： ZOOMによるオンライン研修 介護技術研修	2名

7 設備等の修繕・工事の内容（10万円以上の工事）

修繕・工事名	浴室排煙窓開閉装置修繕
年 月 日	令和 4 年 6 月 30 日
業 車 名	オイレス E C O 株式会社
内 容	男性浴室ハンドルボックス・ワイヤーロープ等取替
金 額(税込)	169, 400 円
修繕・工事名	公用車修理
年 月 日	令和 4 年 9 月 30 日
業 者 名	小茶自動車株式会社
内 容	日産セレナ (31-80) オイル漏れ修理
金 額(税込)	179, 850 円

8 器具及び備品・固定資産の購入内容（10万円以上の購入代金）

なし

令和 4 年度

事業実績報告書



(ふじ・ばたん白寿・米寿祝いの様子 令和 4 年 9 月 28 日)

特別養護老人ホーム 市原園

III 特別養護老人ホーム 市原園 事業実績報告書

ユニット型指定介護老人福祉施設

1 施設の運営管理について

特別養護老人ホーム市原園は、令和4年度事業計画に基づき、施設の適正な運営管理に努めました。今年度も新型コロナウィルス・オミクロン株の流行で入居者・ご家族の方には、外部との交流自粛やリモート面会の協力を経て、感染症対策強化を行いました。

・入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら介護しました。

・各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営むことを支援しました。

(1) 新型コロナウィルス感染症対策として

- ① PCを利用しての面会や窓越し面会を実施。
- ② 短期入所者の利用方法を変更。(単発利用は停止。ロングショート利用は可)
- ③ 定例会議に参加する人数を制限。
- ④ 通院後の自室待機日数の設定
- ⑤ 退院後に抗原検査の実施(陰性確認後、居室3日間対応)

(2) 職員配置の状況

介護・看護職員は2対1の介護体制で、質の高いサービスに努めました。

施設長	事務員	生活相談員	介護支援専門員	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	栄養士	嘱託医	調理員	合計
1	1	1	1	兼	2	23(4)	1	(1)	委託	30(5)名

()は非常勤 (令和5年4月1日現在)

(3) 防災訓練の状況

昭和村消防計画書に基づき、火災や地震、放水訓練、避難救助訓練、通報連絡訓練、夜間を想定した訓練など、いろいろな災害を想定して防災避難訓練を年3回実施しました。



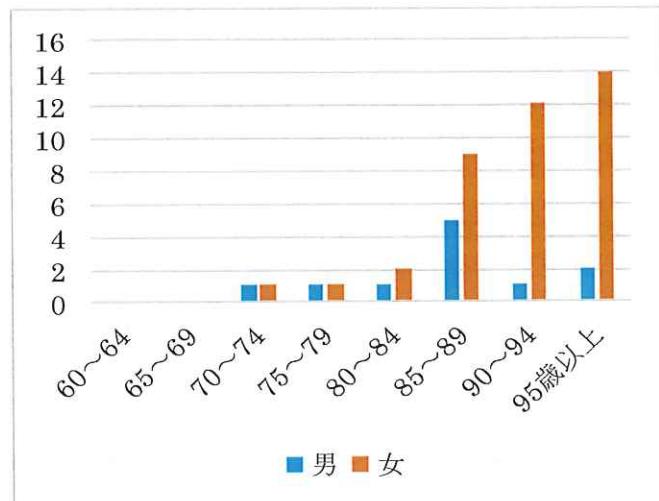
2 利用者処遇について

(1) 月別入退所者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
初日	50	50	50	50	50	50	
入所	1	0	0	1	0	0	
退所	1	0	0	1	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	50	50	50	50	50	50	600名
	0	0	0	1	1	0	4名
	0	0	0	1	1	0	4名

(2)年齢別入居者数(令和5年3月31日現在)

年齢区分	男	女	合計
60~64	0	0	0
65~69	0	0	0
70~74	1	1	2
75~79	1	1	2
80~84	1	2	3
85~89	5	9	14
90~94	1	12	13
95歳以上	2	14	16
合 計	11名	39名	50名
平均年齢	87.2	90.8	90歳



(3)日常生活の状況(令和5年3月31日現在)

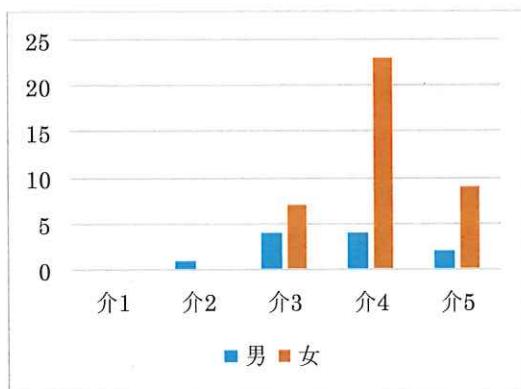
歩行	歩行(介助含む)	9
	車イス自走	24
	車イス全介助	17
	離床不能(短時間なら可)	0
食事	自分で可能	42
	一部介助	4
	全部介助	4
入浴	自分で可能	0
	一部介助	28
	全部介助	22
着衣	自分で可能	1
	一部介助	28
	全部介助	21

排泄	昼間	トイレ	自立	5
		要介助		19
		ポータ	自立	3
		ブル	要介助	2
	夜間	おむつ使用		21
		トイレ	自立	4
		要介助		8
		ポータ	自立	2
		ブル	要介助	1
	おむつ使用			35

(4)入居者の介護度の状況

(令和5年3月31日現在)

	介1	介2	介3	介4	介5	計	平均
男	0	1	4	4	2	11	3.64
女	0	0	7	23	9	39	4.05
計	0	1	11	27	11	50	3.96



(5)施設サービス計画及びサービス内容について

介護支援専門員は、入居者について解決すべき課題を把握し、入居者の意向を踏まえた上で、介護福祉施設サービスの目標及びその達成時期、サービス内容、サービスを提供するまでの留意点等を盛り込んだ施設サービス計画を作成しました。又、必要に応じて施設サービス計画を変更すると共に、内容を入居者及び家族に説明しました。

次にサービスの内容は、施設サービス計画に沿って、入居者に対し居室、食事、介護サ

ービス、その他介護保険法令の定める必要な援助を提供しました。

身体拘束は、入居者又は他の入居者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き行いませんでした。緊急やむを得ず行なう場合においても、マニュアルに基づき、ご家族様との連携を取りながら入居者の尊厳を守ることに注意を払いました。

(6)教養娯楽について

ユニット毎に季節感のある多くの行事を取り入れて、毎日の生活に変化と彩りを与えました。誕生者には、ユニットの担当者が入居者の希望を聞きお祝いをしました。

(7)食事について

食事は、感染症対策として食事の席の間隔をできるだけ空けたり、対面にならないよう配慮・工夫を致しました。

朝 食 8:00～9:00

昼 食 12:00～13:00

おやつ 15:00～

夕 食 17:30～18:30



(桃の節句メニュー)

月1回行事食の日を設け、季節を感じられる献立など日常生活に変化をつけました。

(8)入浴について

介護職員がマンツーマンで入浴介助しますが、「抱え上げない介護」をテーマに、入居者の個々の身体状況に応じて、無理なく安全な体勢で入浴していただけるように個浴型の機械浴槽 16名、チェアインバス 12名、臥床式特殊入浴 22名を実施しました。又、感染予防の観点から入浴介助中、職員はマスクを装着して行いました。

(9)排泄について

プライバシーの保護に配慮しながら、ユニット毎に随時おむつ交換やトイレへの排泄誘導介助をしました。

又、腰痛予防対策として、スライディングシートや電動リフトなどの福祉機器を積極的に導入し、有効活用しました。

(10)機能訓練について

老化の防止や残存機能の維持をはかるため、看護職員1名が機能訓練指導員を兼務し、機能訓練を積極的に実施しました。

ユニット毎にラジオ体操や手足の上げ下げなど、軽い体操を毎日実施しました。

多くの入居者が積極的に参加し、表情も明るく前向きな姿勢が感じられました。



(敬老の日イベント様子)

3 給食管理について

(1)食事について

1月初旬に新型コロナウィルス陽性者が増えた為、感染予防対策として食器を紙皿に変更しました。が、紙皿にしたことで入居者の食思を低下させてしまった為、普段使用している食器の取り扱い方を検討し、感染症対策をしつつ食思が向上するよう検討しました。

毎月行われる給食会議も、感染症予防対策として各部署の代表者がまとめた議案を栄養士が集計し、委託業者（株式会社西原屋）スタッフに確認してもらい、入居者の嗜好や摂取状況などを把握し、より良い給食が提供出来るようにしました。

又、温冷配膳車(24人用×3台)は電動アシスト機能付きで、女性スタッフでも軽々と操作可能になり各ユニットまでスムーズに適温給食を提供することが出来ました。

又、月1回の行事食を取り入れ、季節感のある献立を作成すると同時に、身体状況(咀嚼・嚥下能力、健康状態など)に応じて、普通食、キザミ食、超キザミ食、ミキサー食などの調理形態を用意し、状況変化に応じて適宜変更しました。

食事以外にも水分補給の重要性を鑑み、ユニット毎にお茶の時間を設け、介護職員は全入居者の食事、水分の摂取状況を全て記録するようにしました。

食中毒の予防として、委託業者にもノロウイルスや腸管出血性大腸菌 O-157 対策、衛生管理チェックリストの整備などを指導しました。また検便も委託業者だけでなく職員も実施しました。

(2) 栄養所要量について(令和5年3月31日現在)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,400	58.3	41.2	750	7.5	850	0.90	1.00	100

※ハリスベネディクトにて算出。

(3) 令和4年度 栄養摂取量(1人1日当たり)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC Mg
平均	1,443	61.3	47.5	833	10.6	772	0.76	0.87	85

(4) 調理形態別の食事の状況(令和5年3月31日現在)

主食	ご飯 12名	お粥 31名	粥ゼリー 7名	流動食0名	胃ろう栄養0名
副食	普通 6名	キザミ 9名	超キザミ 28名	ミキサー 7名	流動食0名



(ふじ・ばたん敬老会の様子) (さくら・つつじ敬老会の様子) (クリスマス会)

4 健康管理について

(1) 保健計画について

入居者の健康管理については、疾病の早期発見、早期治療のために定期健康診断や日常の健康チェックに努めました。そして、入居者の身体状況や症状に応じて、嘱託医の診察や協力病院等へ通院しました。嘱託医と連絡調整は密に行い、入居者の症状に応じて治

療の指示を得て、適切な措置を行いました。特に新型コロナウイルスの流行時には、嘱託医の指示により施設で検査を行い、投薬、点滴治療を早目に対応しました。

又、入院治療を必要とする入居者については、嘱託医、協力病院、ご家族等と連絡を取り合いました。歯科の診療については、入居者の症状に応じて歯科医院に往診を依頼し、口腔内の管理、治療、義歯の作成など行いました。

眼科、耳鼻科、整形外科、皮膚科などの診療については、家族と連絡を取り合い、時に通院の協力依頼をすることもありました。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策に対しての研修を行い、マニュアルに沿って周知徹底しました。

(2) 入居者の健康診断について

市原健康クリニックにより、各居室での胸部レントゲン検査、心電図検査、血圧測定、尿検査、診察など、集団検診で実施し、疾病の早期発見に努めました。



(3) 職員の健康診断について

全職員の健康診断を市原健康クリニックの移動検診車による集団検診で実施しました。一般の職員は年1回、一般健康診断を実施しました。また、直接処遇職員については、一般健康診断に加え2回の腰痛検査を実施しました。希望者には、社会保険指定病院の生活習慣病予防検診を受診できるように便宜を図りました。

(4) 入居者の医療機関への入退院の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入院者	2	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	6	22名
退院者	1	1	0	0	1	1	0	0	2	1	0	2	9名

(5) 月別ベッド入居率(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
在籍	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	
入院、外泊	29	44	40	59	22	3	
在園	1,471	1,506	1,460	1,491	1,528	1,497	
利用率	98.1	97.2	97.3	96.2	98.6	99.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250人日
	8	33	44	15	6	75	378人日
	1,542	1,467	1,506	1,535	1,394	1,475	17,872人日
	99.5	97.8	97.2	99	99.6	95.2	97.9%

5 年間行事

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も計画していた行事すべて中止となった為、行事に代わる事柄を検討し4~5月には、外気浴をしながら施設敷地内の桜やさつきの見学。 ・8月各ユニットで盆踊りの音楽を流して雰囲気を楽しむ(提灯装飾) ・9月敬老週間には各ユニットで企画し喫茶店風に飲み物や和洋菓子を提供。 ・10月運動会もユニットで異なった企画で入居者の方は雰囲気を楽しみました。
R4~	
6/7	職員健康診断
6/9	入居者健康診断
7/4	不在者投票 入居者48名投票
7/30	コロナワクチン4回目接種 入居者39名 職員1名
8/13	コロナワクチン4回目接種 入居者12名 職員8名
10/29	インフルエンザ予防接種 入居者56名(短期入所者含む)
11/28	集団指導研修(ZOOM)
12/10	コロナワクチン5回目接種 入居者52名
12/13	千葉県指導監査(処遇)
12/21	クリスマス会(行事食) (別日に各ユニットに入居者にプレゼントを渡しています)
R5~	
1/7	介護職員1名、新型コロナウィルス陽性を確認
1/10	入居者1名、新型コロナウィルス陽性を確認 (陽性者:職員10名・入居者20名 計30名となり、市原保健所からクラスターと断定された)※重篤な状態にはならず、軽症で済みました。
2/2	市原園陽性者隔離期間終了し、全面通常の生活へ戻す ●令和4年度10月までPCR検査実施。11月からは抗原検査キットを使用し、3月まで検査結果を【検査結果報告用Webサイト】報告した。



(さくら・つつじ納涼祭の様子)



(ワクチン接種の様子)

6 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修名	内容	参加人数
R5. 2月14日	BCP作成研修	東京海上日動 西森氏によるBCP作成研修	2名

(2) 外部研修

日付	研修名	内容	参加人数
R4. 6月16日	施設長及び事務担当者研修会	高齢協 ZOOMによるオンライン研修 県:職員による講義・結城先生講義	1名
R4. 8月10日	認知症の理解とケア研修	高齢協 ZOOMによるオンライン研修 認知症の方とのコミュニケーション方法	2名

R4. 8月 30 日	安全運転管理者講習	事業所における安全運転義務	1名
R4. 11月 28 日	集団指導研修会	介護保険指定事業者集団指導	2名
R4. 12月 1, 2 日	介護福祉士受験者特別研修会	介護福祉士国家資格受験対策講座	1名
R5. 1月 10 日	介護施設向け法定研修	高齢協 ZOOMによるオンライン研修 身体拘束廃止と高齢者虐待防止	1名

7 器具及び備品・固定資産の購入内容(10万円以上の購入物品)

器具及び備品名	職員用洗濯機
年 月 日	令和4年11月30日
業 者 名	スワダ電器
内 容	職員用洗濯機
金 額(税込)	138,000円
器具及び備品名	介護用ベッド
年 月 日	令和4年8月31日
業 者 名	(株)ユアーズメディカル
内 容	ベッド1台購入
金 額(税込)	303,000円

8 設備等の修繕・工事の内容(10万円以上の工事)

修繕・工事名	縦型リビングエアコン修理
年 月 日	令和4年10月31日
業 者 名	(株)パナソニック産機システム
内 容	室外機内コンプレッサー、基板・リード線交換
金 額(税込)	384,450円

併設型・空床型ユニット型指定短期入所生活介護

1 事業の実施状況について

「全室個室・ユニットケア」のユニット型指定短期入所生活介護(定員 10 名)の施設で、ユニット毎に家庭的な雰囲気の中で、本人の意思及び人格を尊重し、自立した日常生活が営まれるように介護しました。

入院ベッドを利用する空床型短期入所も実施していましたが、昨年度に引き続き新型コロナウィルス対策と施設内クラスターが発生した影響で、短期入所を一定期間閉鎖したことで利用回数は減少し、年間平均利用率は 84.9%となりました。

短期入所生活介護利用者の健康管理については、事前情報の提供を受けるなど、担当介護支援専門員や家族等との連絡を密にし、状況・状態に応じた処置や通院介助をしました。

2 職員配置の状況

介護・看護職員は 2 対 1 の介護体制で、質の高いサービスに努めました。

施設長	事務員	生活相談員	介護支援専門員	看護職員	介護職員	栄養士	嘱託医	調理員
1 (兼)	1 (兼)	1 (兼)	1 (兼)	0	4	1 (兼)	1 (兼)	委託

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

3 短期入所生活介護の利用状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ利用日数	246	231	237	278	295	274	
利用率	82	74.5	79	89.7	95.2	91.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	250	282	282	266	209	250	3,100人日
	80.6	94	91	85.8	74.6	80.6	84.9%

4 器具及び備品・固定資産の購入内容 (10 万円以上の購入物品)

器具及び備品名	介護ベッド
年 月 日	令和 4 年 8 月 31 日
業 者 名	(株) ユアーズメディカル
内 容	ベッド 2 台購入
金 額(税込)	603,290 円
器具及び備品名	公用車購入
年 月 日	令和 4 年 7 月 29 日
業 者 名	ホンダカーズ馬立店
内 容	公用車購入(車名 : ホンダ N-BOX)
金 額(税込)	2,180,000

令和 4 年度

事業実績報告書



(令和 4 年 秋の芸術作品)

市原園デイサービスセンター

IV 市原園デイサービスセンター 事業実績報告書

1 事業の実施状況について

(1)はじめに

市原園デイサービスセンターは、令和4年度事業計画に基づいて運営管理に努めました。平成28年4月1日から地域密着型通所介護へと移行となった事から、年2回の運営推進会議の開催が必要となり第一回目は施設にて会議が出来ましたが、第二回目はコロナウイルス感染症対策として文書による開催とし、運営推進委員の皆様から貴重なご意見を頂きました。利用者のサービス向上に努め地域の皆様から良い評価を得られるよう努力しました。

又、地元で開催の加茂公民館主催の拓大紅陵高校のマーチングバンドコンサートなどに参加できましたが、加茂学園の運動会、学園祭等の地域交流行事は、新型コロナウイルス感染症の関係から自粛となり地域との交流を深める事が出来ませんでした。

新型コロナウイルス感染予防対策について

- ① デイサービス専用の出入り口を夜間通用口に設け、施設入居者や他のサービス利用者との接触を避けるように工夫しました。
- ② 利用者の送迎自動車乗車前の体温測定を実施しました。
- ③ 体温測定を午前と午後の一日2回実施し、健康チェックを強化しました。
- ④ 手洗い、手指アルコール消毒、食事時以外のマスク着用などを徹底しました。
- ⑤ 食堂の密を避ける為、テーブル8台で対面式をなくしました。
- ⑥ 外食が出来なかったので、出前食の日やお楽しみ給食、テイクアウトのおやつの日を実施しました。
- ⑦ 送迎終了時の車両のアルコール消毒など感染予防に努めました。
- ⑧ 職員の就業前と午後の体温測定、健康チェック、行動表の記録などを実施しました。
- ⑨ 職員の勤務体制を2交代制とし、昼食時間も分けました。
- ⑩ PCR検査実施（職員）10/2～毎週1回実施。12月後半より抗原検査キット週2回実施。
- ⑪ 月1回職員と利用者の皆様による衛生講習会実施。

このように、今年度は出来る限りのコロナウイルス感染予防対策に努めて、通所介護サービスの実施を継続しました。

(2)職員配置の状況

管理者	生活相談員	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	運転職員	合計
1	1	(2)	1(3)	(2)兼務	(1)	3(6)名

()は非常勤 (令和5年4月1日現在)

(3)サービスの提供について

サービスの提供に当たっては、通所介護計画に基づき利用者の有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上のお世話及び機能訓練などを行いました。

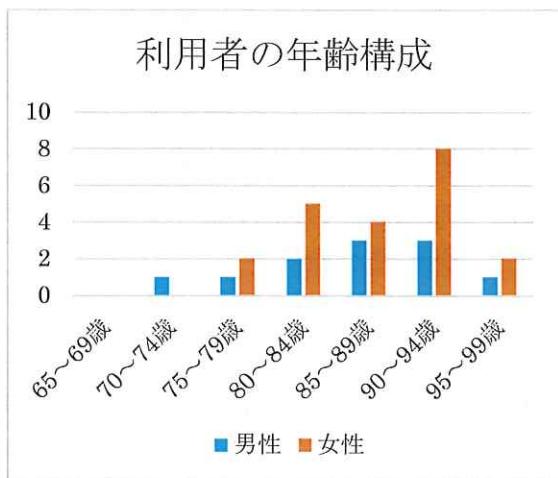
利用者は、72～99歳と年齢差も大きく、90歳以上の年齢層が14名と利用者全体の約半数近く占めていますので、無理なく安全にサービスの提供が出来るように、個別の通所介護計画や機能訓練の見直し等を行い、個別介護に努めました。

又、利用者の社会的孤立感の解消や心身やADL機能の維持、そして利用者の家族の方々の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

【利用者の年齢構成】

	男性	女性	計	前年比
65～69歳	0	0	0	0
70～74歳	1	0	1	-1
75～79歳	1	2	3	+1
80～84歳	2	5	7	+2
85～89歳	3	4	7	0
90～94歳	3	8	11	-4
95～99歳	1	2	3	+2
合計	11	21	32名	0名
平均年齢	86.9	87.8	87.4	+1.1歳

(令和5年3月31日現在)



(4) 行事、レクリエーション等について

行事、レクリエーション等については、お花見、紅葉狩り、クリスマス会、ガーデニングやクッキング教室、そして、今年もコロナウイルス感染予防の為家族の参加は出来ませんでしたが、職員、利用者のみで敬老会を実施しました。

今年4回目の絵手紙教室は、皆さん思い思いに作品を書き上げ、家族の方などに送ることが出来ました。

毎月1回の誕生会の豪華な行事食や防災訓練は、例年通り実施出来ましたが、今年度もコロナウイルス感染予防の為、施設の入居者の方々との交流は一切できませんでした。

3月末には、今年度の反省会を一週間掛けて実施し、その方に合った賞状や一年間分の作品等のプレゼントをお渡しました。

・主な行事

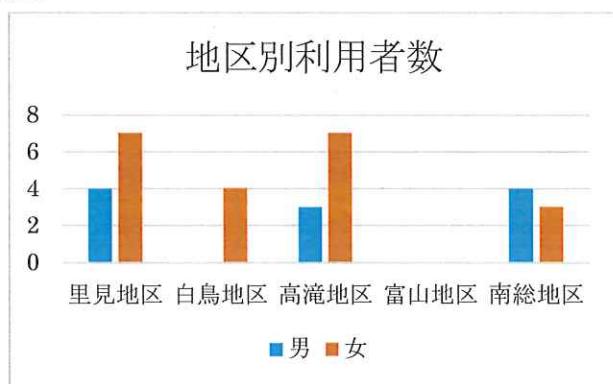
4月	「デイサービス便り」発行 お花見(高滝ダム、木更津、君津、渓谷方面) 菜の花ドライブ 衛生講習会・車椅子操作訓練 選択レク	 (お花見ドライブ)
5月	端午の節句 菖蒲湯・ミニ運動会 高滝ダム湖畔散歩(バラ園見学) 母の日思い出作り 選択レク・グランドゴルフ 衛生講習会・車椅子操作訓練	 (高滝バラ見学)
6月	出前会食・中村 哲さん写真展見学 お花見ドライブ(あやめ見学) 父の日思い出作り 選択レク・グランドゴルフ 車椅子操作訓練	 (中村哲さん写真展見学)

7月	七夕・音楽リズム遊び・防災訓練 絵手紙教室・衛生講習会 外食の代わりに出前会食 選択レク、給食アンケート実施 地域密着型運営推進会議		(衛生講習会・手洗い)
8月	写経・マット運動 衛生講習会 選択レク 夏祭り大会		(夏祭り)
9月	敬老会（利用者様と職員で行う） 米寿祝い 防災訓練・マット運動 「デイサービス便り」発行 選択レク・衛生講習会		(敬老会)
10月	マーチングバンドコンサート観賞 秋の芸術作品作り・外で運動会・マット運動 選択レク・衛生講習会		(拓大紅陵吹奏楽演奏会)
11月	加茂学園へ雑巾寄贈（200枚） 芸術祭作品作り（落ち葉のリース・ふくろう作り） お楽しみ給食 選択レク・マット運動 紅葉ドライブ(養老渓谷方面・亀山・柳川)		(お楽しみ給食)
12月	紅葉ドライブ（亀山・黄和田・養老渓谷方面） プロレスの慰問・お楽しみ給食 防災訓練（防災ビデオ鑑賞1週間） クリスマス会 ハンドベル演奏、ゆず湯 選択レク、茶話会・衛生講習会		(クリスマス会)
1月	カルタ取り、羽根つき、トランプ 福笑い・新年の目標 初詣（高滝神社） 選択レク・衛生講習会		(初詣)
2月	節分豆まき・マット運動 選択レク・バレンタインデー 苺パフェ（ティクアウト）・衛生講習会 地域密着型運営推進会議（書類）		(節分会)
3月	ひな祭りの会、音楽体操、選択レク ドライブ・マット運動 デイ防災訓練 苺パフェ（ティクアウト） お花見ドライブ（加茂地区・君津地区） お楽しみ茶話会（今年度反省会）		(苺パフェ)

2 利用の状況について

(1) 地区別利用者数(令和5年3月31日現在)

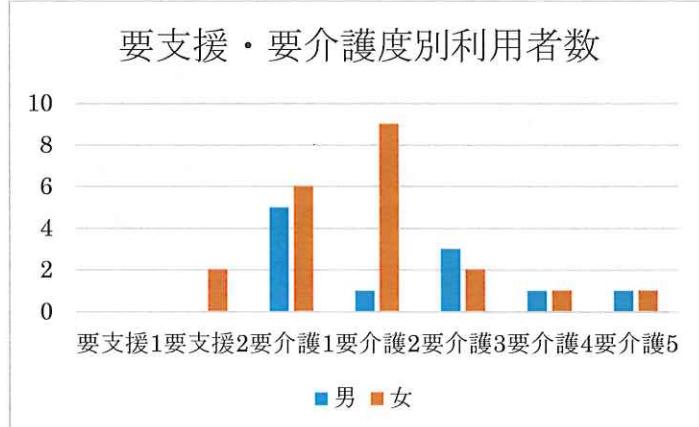
	男	女	計	前年比
里見地区	4	7	11	0
白鳥地区	0	4	4	-1
高滝地区	3	7	10	+1
富山地区	0	0	0	-1
南総地区	4	3	7	+1
合 計	11	21	32名	0名



(2)要支援・要介護度別利用者数(令和5年3月31日現在)

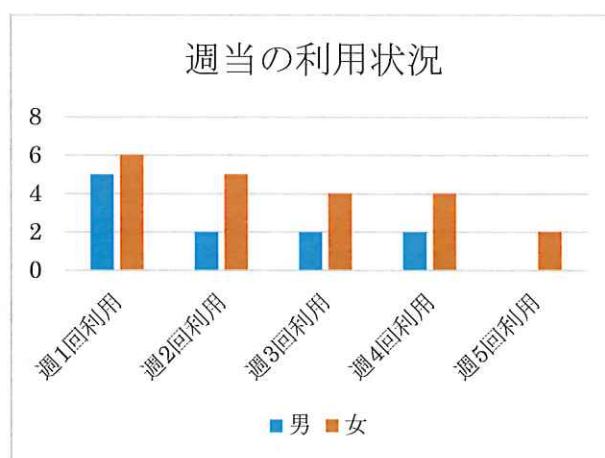
	男	女	計	前年比
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	2	2	-2
要介護1	5	6	11	0
要介護2	1	9	10	0
要介護3	3	2	5	+2
要介護4	1	1	2	0
要介護5	1	1	2	0
合 計	11	21	32名	0名

(平均要介護度 2.1)



(3)利用者の週当の利用状況(令和5年3月31日現在)

	男	女	合計
週1回利用	5	6	11
週2回利用	2	5	7
週3回利用	2	4	6
週4回利用	2	4	6
週5回利用	0	2	2
合計	11	21	32名



(4)月別利用者数

年間定員 3,600 名の所 3,478 名の実績で、96.6%の年間利用率でした。

	営業日数	1日平均利用者数	1月の延べ要支援者数	1月の延べ要介護者数	1月の延べ合計利用者数	利用率
4月	21	14.3	16	284	300	100%
5月	21	14.3	16	284	300	100%
6月	21	14.3	14	286	300	100%
7月	17	12.6	11	204	215	71.7%
8月	21	14.1	11	285	296	98.7%
9月	21	14.3	13	287	300	100%
10月	19	14.1	9	259	268	89.3%
11月	21	14.2	10	289	299	99.7%
12月	21	14.3	6	294	300	100%
1月	21	14.3	7	293	300	100%
2月	20	15.0	7	293	300	100%
3月	21	14.3	6	294	300	100%
年間合計		170.1	126	3,352	3,478	年間利用率
月の平均		14.2	10.5	279.3	289.8	96.6%

※ 7月職員4名コロナ感染の為、5日間休業する。

10月職員2名、利用者様2名コロナ感染の為、3日間休業する。

3 職員研修実績

(1)外部研修

日付	研修名	内 容	参加人数
R4. 9月9日	ハラスメント対策研修	県社協：ZOOMによるオンライン研修 健康的な職場風土の育み方	1名
R4. 10月4日	権利擁護研修	県社協：ZOOMによるオンライン研修 成年後見制度の活用に向けて	1名
R5. 3月1日	新規採用合同研修	デイ協：福祉施設職員の心構え・虐待や防止策について	2名

(2)内部研修

日付	研修名	内 容	参加人数
R5.2.14	BCP作成研修	東京海上日動西森氏によるBCP作成研修	1名

4 設備等の修繕・工事・購入の内容（10万円以上の工事）

修繕・工事名	ワイヤレスマイク購入	浴室排煙窓開閉装置修繕
年 月 日	令和4年6月	令和4年4月
業 者 名	スワダ電器店	オイレスECO株式会社
内 容	CDラジオポータブルステレオ・ワイヤレスマイク	ハンドルボックス・ワイヤーロープ・滑車・ステイダンパー等の取替
金額(税込)	129,734円	198,000円

令和 4 年度

事業実績報告書



市原園在宅介護支援センター

V 市原園在宅介護支援センター 事業実績報告書

指定訪問介護

1 はじめに

令和4年度の訪問介護事業は、7名の訪問介護員が、24時間、365日、利用者から要望があればいつでも活動が出来るように体制を整備し対応しました。

活動内容は、居宅を訪問して入浴・排泄等の介護及び援助、家事・炊事、買い物等の日常生活支援でした。

平成30年4月からは介護予防訪問介護サービスがなくなり、市原市と大多喜町での日常生活支援総合事業の申請登録を行い、サービスを提供しています。

令和4年度の活動回数の実績は、月平均536回で、令和3年度と比較すると月平均177回程減少しました。

新型コロナウィルス感染症対策として、ヘルパー活動前後の手指消毒と公用車内や自家用車内の消毒を徹底し、ウイルスを持ち込まない、持ち出さないを徹底しました。

2 職員の状況

管理者	サービス提供責任者 兼 訪問介護員	非定型的パートタイムヘル パー	合 計
1 兼務	1(1)	(5)	1(6)名

()は非常勤 (令和5年4月1日現在)

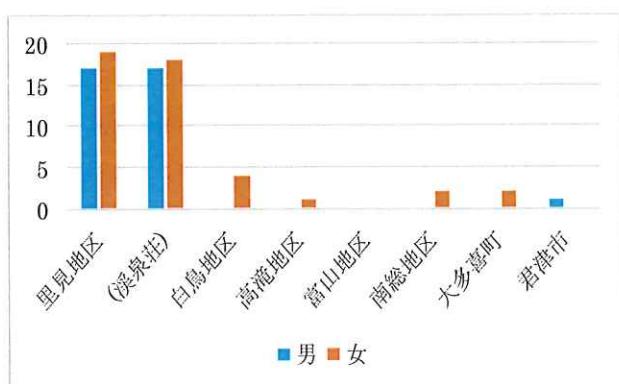
3 訪問活動延数

月	身1	身2	身3	身1生1	身1生2	生2	生3	訪問型1	訪問型2	訪問型3	計 (回)
4	88	165	5	50	19	89	219	9	8	12	664
5	90	181	1	48	19	91	241	9	9	14	703
6	82	168	0	58	27	73	235	8	7	13	671
7	74	176	0	69	25	72	235	9	8	13	681
8	57	92	0	47	20	68	180	6	3	0	473
9	63	177	0	57	24	71	244	9	7	0	652
10	49	162	0	88	16	73	243	9	9	0	649
11	31	88	0	51	10	54	176	8	5	0	423
12	36	84	0	46	4	48	176	11	11	0	416
1	11	82	0	44	0	45	158	11	12	0	363
2	4	79	0	43	0	44	147	10	11	0	338
3	6	90	0	57	0	50	176	7	15	0	401
計	591	1,544	6	658	164	778	2,430	106	105	52	6,434

(前年比-2117回)

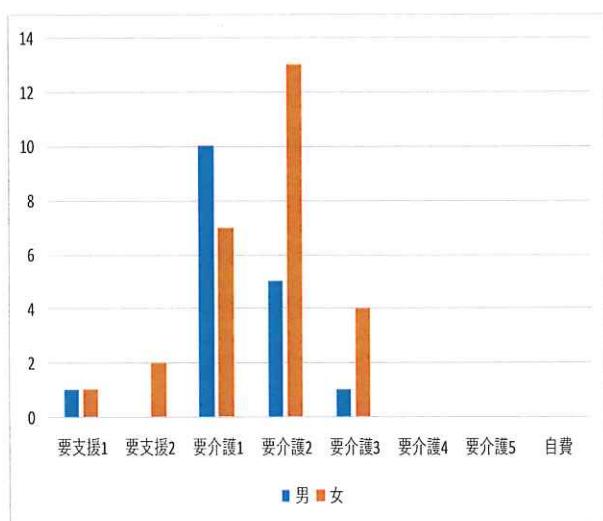
4 地区別利用者の状況(令和5年3月現在)

	男	女	計	前年比
里見地区 (渓泉荘)	16 (16)	19 (18)	36 (35)	-2 -1
白鳥地区	0	4	4	1
高滝地区	0	1	1	-4
富山地区	0	0	0	-3
南総地区	0	1	1	1
大多喜町	0	2	2	-1
君津市	1	0	1	0
合計	17	27	44名	-6



5 要支援・要介護度別利用者の状況 (令和5年3月現在)

	男	女	計	前年比
要支援1	1	1	2	0
要支援2	0	2	2	0
要介護1	10	7	17	-3
要介護2	5	13	18	-1
要介護3	1	4	5	-1
要介護4	0	0	0	-1
要介護5	0	0	0	0
自費	0	0	0	0
合計	17	27	44名	-6



6 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修名	内容	参加人数
R5 2月14日	BCP作成研修	東京海上日動 西森氏によるBCP作成研修	1名

(2) 外部研修

日付	研修名	内容	参加人数
R4 11月14日	令和4年度介護保険指定事業者集団指導	県: ZOOMによるオンライン研修	1名
R5 2月3日	身体拘束・虐待防止研修	県: ZOOMによるオンライン研修 虐待の発見から関係機関との連携について	1名

7 器具及び備品・固定資産の購入内容(10万円以上の購入物品)

該当備品・購入なし

設備等の修繕・工事の内容(10万円以上の工事)

該当修繕・工事なし

令和 4 年度

事業実績報告書



市原園居宅介護支援事業所

VI 市原園居宅介護支援事業所 事業実績報告書

指定居宅介護支援

1 はじめに

介護支援専門員が、要介護者等に対し介護（予防）サービス計画の作成を行いました。在宅介護を希望される本人や、家族の心身状況や置かれている環境に応じて、多様な事業者から選択により総合的かつ効果的に提供されるように配慮し主治医と連携を取り、きめ細かくサービスが提供できるようサービス計画を作成しました。

また、事業運営にあたっては、市町村、地域包括支援センター、病院、他の指定居宅介護支援事業者と密に連携をとり、情報交換を行いながら推し進めることができました。

- ・多様に変化する介護保険制度を円滑に実施するため常に、職員の資質向上に努め研修会、検討会等に積極的に参加しました。
- ・特定事業所加算に係る基準を遵守し、特定事業所加算Ⅱの算定を受け利用者一人当たり4,000円の加算を受けることができました。
- ・市原市や他市町村から委託を受け、介護認定調査を実施しました。令和4年度は135件の実績でした。

新型コロナウィルス感染予防対策としては

- ①常時マスクを着用・訪問時は消毒液を持参し、通常のモニタリングであれば玄関先で距離を取り会話するようにし、事業所に戻った際は必ず手洗い・消毒を徹底しました。
- ②サービス担当者会議の開催は問題がなければ電話や文書でやり取りをしました。
- ③他法人との共同事例検討会では年2回、文書でやり取りをしました。

2 職員の状況

管理者 兼 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員	介護支援専門員	合計
1名	2名	1名	4名

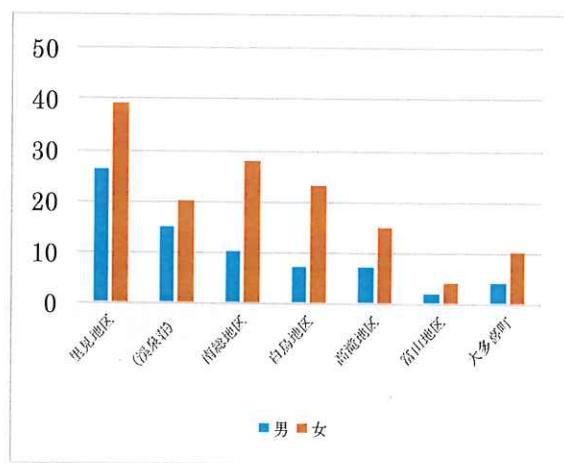
(令和5年4月1日現在)

3 ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	135	135	135	141	132	136	136	137	139	134	136	135	1,631 件
支援	53	52	54	53	53	55	51	52	50	46	50	51	620 件

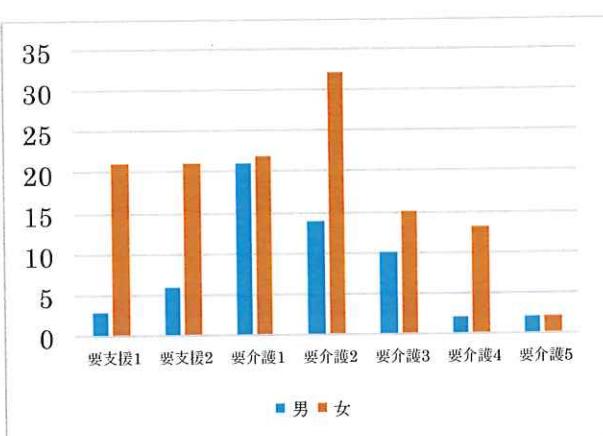
4 地区別利用者の状況(令和5年3月現在)

	男	女	計	前年比
里見地区 (渓泉荘)	26 (15)	39 (20)	65 (35)	-8 (-1)
南総地区	10	28	38	5
白鳥地区	7	23	30	0
高滝地区	7	15	22	-1
富山地区	2	4	6	-1
大多喜町	4	10	14	-3
君津市	0	1	1	0
その他	2	6	8	6
合計	58	126	184	-2



5 要支援・要介護度別利用者の状況(令和5年3月現在)

	男	女	計	前年比
要支援1	3	21	24	0
要支援2	6	21	27	0
要介護1	21	22	43	-16
要介護2	14	32	46	+9
要介護3	10	15	25	0
要介護4	2	13	15	+5
要介護5	2	2	4	0
合計	58	126	184	-2



6 各事業所にサービス提供を依頼した件数(介護・支援含む、重複あり)(令和5年3月分)

サービス提供の内容	件数	サービス提供の内容	件数
ヘルパーの利用	54	福祉用具(ベッド)の貸与	37
短期入所生活介護の利用	21	〃付属品	37
デイサービスの利用	79	福祉用具(床ずれ防止マット)の貸与	2
デイケアの利用	32	福祉用具(車イス)の貸与	16
訪問看護の利用	13	福祉用具(歩行器)の貸与	41
訪問入浴の利用	5	福祉用具(手すり)の貸与	66

7 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修名	内 容	参加人数
R5 2月14日	BCP作成研修	東京海上日動 西森氏によるBCP作成研修	1名

(2) 外部研修

日付	研修名	内 容	参加人数
R4 6月11日	第100回研修会 令和4年度総会記念研修会	地域医療の危機管理と ケアマネジャーへの期待	1名
R4 6月14日	パラメディカル千葉営業所 リニューアル記念Webセミナー	これからの介護保険の動向	2名
R4 6月21日	第1回認知症介護連携カンファレンス	認知症初期集中支援チーム 介入事例	1名
R4 7月19日	認知症研修会	「妄想のメカニズムと対策」 「認知症とリハビリテーション」	1名
R4	令和4年度第1回 市原市ケアマネ	「看取りについて学ぶ」	1名

7月 27 日	ジャー連絡会・定例会		
R4 8月 21 日	千葉県介護支援専門員協議会 第 101 回 研修会	実践力向上！高齢者のお口の昨日と口腔ケア～歯科医師との効果的な連携の仕方～	1名
R4 9月 14 日	市原市 ケアマネ交流会	・Life を意識したアセスメントについてのディスカッション ・今年度からの地域包括支援センター業務について	1名
R4 9月 21 日	令和 4 年度介護支援専門員研修会	「共生社会の実現について～障がい分野との連携」	1名
R4 10月 15 日	千葉県介護支援専門員協議会 第 102 回 研修会	重層的支援における 介護支援専門員の役割	1名
R4 11月 16 日	第 5 回高次機能障害生活版 ジョブコーチ支援研修会	「高次機能障害の方の地域生活支援～生活版ジョブコーチ支援～」	1名
R4 11月 29 日	令和 4 年度第 2 回 市原市ケアマネ ジャー連絡会 定例会	地域防災について ～B C P (事業継続計画) の作成～	2名
R4 12月 17 日	千葉県介護支援専門員協議会 第 103 回 研修会	より良いケアマネジメントに向けて ～人が人を援助するということ～	1名
R5 2月 1 日～ 2月 28 日	介護認定調査員現任研修 (動画視聴)	認定調査に従事する者が要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適切な認定調査をするために必要な知識・技術を習得及び向上させる	4名

8 設備等の修繕・工事の内容（10万円以上の工事）

該当修繕・工事なし

令和 4 年度

事業実績報告書



昭和村壳電事業

VII 昭和村壳電事業 事業実績報告書

1 はじめに

社会福祉法人昭和村は、平成 29 年度から空調設備や給湯設備の更新、照明器具の LED 化など、施設の省エネルギー対策に取り組んで来ました。

そして、平成 30 年度には施設の屋根を有効活用し、収益事業として太陽光発電による壳電事業を立ち上げ、安定した社会福祉事業の経営を目指しました。発電量は、予測値よりも多く、社会福祉事業にも繰り入れ出来ました。

2 事業内容

設計・監理業者 株式会社ウエストエネルギーソリューション

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 31 階

設置場所 軽費老人ホーム渓泉荘 A・B 棟屋根

壳電開始日 平成 30 年 10 月 5 日

3 壳電実績

年 月	発電量 (エコめがね)	壳電金額 (収入額)	予測量との 対比
令和 4 年 4 月	7,183.0 kWh	172,391 円	+ 2.0%
令和 4 年 5 月	8,083.7 kWh	194,007 円	+ 12.9%
令和 4 年 6 月	8,113.0 kWh	194,712 円	+ 50.7%
令和 4 年 7 月	8,443.7 kWh	202,649 円	+ 23.0%
令和 4 年 8 月	7,616.3 kWh	182,790 円	+ 6.8%
令和 4 年 9 月	6,079.4 kWh	145,905 円	+ 8.5%
令和 4 年 10 月	5,243.6 kWh	125,854 円	+ 9.3%
令和 4 年 11 月	4,528.7 kWh	108,689 円	+ 13.8%
令和 4 年 12 月	4,422.5 kWh	106,139 円	+ 11.8%
令和 5 年 1 月	4,545.4 kWh	109,089 円	+ 9.3%
令和 5 年 2 月	5,279.6 kWh	126,710 円	+ 7.6%
令和 5 年 3 月	6,364.6 kWh	152,750 円	+ 3.9%
合 計	75,903.6 kWh	1,821,685 円	平均 +11.3%

4 借入金の返済状況

借入先	京葉銀行 五井支店
借入額	14,500,000 円
借入年度	平成 30 年度
完済年度	令和 15 年度
令和 4 年度 償還額元金	960,000 円
利子	107,012 円
令和 4 年度末 償還残額	10,260,000 円

5 設備等の修繕・工事の内容 (10 万円以上の工事)

なし